

はいゆうかん
俳優館について

俳優館(総合劇集団俳優館)は、1986年2月(昭和61年)に演劇プロデューサー(制作者)の森剣(愛知県名古屋在住)が、劇作家・演出家のふじたあさや(神奈川県在住)等によびかけて、愛知県名古屋市に設立されました。俳優館の作品の特徴は、既成作品ではなく、劇団オリジナル作品を制作し続けていることと、その多くの作品が劇芸術の表現様式として、ミュージカル及び音楽劇であることです。

俳優館は全国各地の子どもから大人の方々に数々の作品を持って巡回公演を行っています。これまで、北海道から沖縄まで、日本全国の広い地域で活動を続けています。

◆加盟組織◆
公益社団法人日本劇団協議会 日本児童・青少年演劇劇団協同組合
愛知児童・青少年舞台芸術協会

開催日程

開催月日 (令和5年)	開催地	開催校
9月28日(木)	和歌山県広川町	広川町立広小学校(会場：広川町立南広小学校)
10月18日(水)	岐阜県海津市	海津市立吉里小学校
11月14日(火)	宮崎県国富町	国富町立森永小学校
11月15日(水)	宮崎県日向市	日向市立東郷学園
11月16日(木)	大分県別府市	別府市立鶴見小学校
11月17日(金)	大分県日田市	日田市立光岡小学校
11月27日(月)	京都府京都市	京都市立醍醐中学校
11月28日(火)	大阪府大阪市	大阪市立南百済小学校
12月13日(水)	宮崎県宮崎市	宮崎市立青島小学校
12月18日(月)	鹿児島県和泊町	和泊町立内城小学校・和泊町立城ヶ丘中学校 (会場：和泊町立城ヶ丘中学校)
12月20日(水)	鹿児島県徳之島町	徳之島町立東天城中学校(会場：徳之島町文化会館)

総合劇集団 俳優館

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 1-22-17
TEL 052-203-8721 FAX 052-203-8729
URL <https://hiyoucantk.wixsite.com/hi-you-can>
E-mail ttm-mr@ss.iij4u.or.jp

れいわ ねんど がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
令和5年度 学校巡回公演事業

そうごうげきしゅうだん はいゆうかん
総合劇集団 俳優館

原作●きむらゆういち「あらしのよるに」(講談社刊)
脚本●三樹健 音楽●ノノヤママナコ 演出・振付●ほりみか

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
「学校巡回公演事業」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



ぶたいげいじゆつとうそうごうしえんじぎょう がっこうじゅんかいこうえん どくりつぎょうせいほうじんにほんげいじゆつぶんかじんこうかい
舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 独立行政法人日本芸術文化振興会

スタッフ (劇を創った人たち)

原作 (劇の元になった本) きむらゆういち「あらしのよるに」(講談社刊)
 脚本 (劇の脚本を書いた人) 三樹健
 脚本監修 (脚本を書く手伝いをした人) ふじたあさや
 演出・振付 (劇の全体を考へ俳優の動きや踊りを創った人) ほりみか
 作曲・音響 (劇の音楽を創って音響効果のプランを立てた人) ノノヤママナコ
 歌唱指導 (歌を指導した人) 水野麻美
 美術・衣裳 (舞台装置、登場人物の衣裳をデザインした人) 中矢恵子
 照明 (舞台の照明をデザインした人) 加藤敦雄
 大道具 (劇の大道具をデザインした人) 岡田保 (演劇組織KIMYO)
 舞台監督 (劇の進行を担当する人) 太田孝広
 宣伝美術 (劇の印刷物をデザインした人) 今枝 蛭
 プロデューサー (劇を創ることを考えた人) 森 釗
 制作 (プロデューサーの手伝いをした人) 祖川詩織

キャスト (劇に出演する人たち)

稲吉直人 ガブ (オオカミ)
 谷口真規 メイ (ヤギ)
 今枝 蛭 ヤギの長老、クロス
 今村しんすけ タブ (ヤギ)、クロス
 菊正 サル、クロス
 鈴木かえり バリー (オオカミ)、おばさんヤギ、クロス
 夏目みほ リス、クロス
 馬場祥 ギロ (オオカミ)、クロス



あらしのよるに 小屋の中で出会った
 オオカミのガブとヤギのメイ。
 真っ暗で顔も見えなくて
 おたがいが誰なのかわからない。
 オオカミはヤギが大好き。
 顔が見えたらパクリと食べられちゃうぞ！
 さあ、どうなる!?



♪気の合う友だち (劇中で歌われる歌)

そそっかしくて よわむしだけど
 いっしょにいるとホッとする
 ヤギとオオカミ オオカミとヤギ
 ちがっているけど きのあうともだち

 ひとりぼっちじゃ さみしいけれど
 いっしょにいるとホッとする
 ヤギとオオカミ オオカミとヤギ
 ちがっていたって きのあうともだち
 きのあう きのあう ともだちなんだ



人が人を思いやる気持ち、ちがった者同士が共に生きること、
 生きる力と勇気、いのちの輝き、友情の大切さを、子どもたちに届けます。

「ちがったものたちがいっしょに生きる」

オオカミとヤギという違った生き方をしている動物が、偶然にも友だちになってしまった。これはあり得ない話である。そこからとんでもない事件が次々とはいま。物語としてそこが実に面白い感動を呼ぶ。でも、それを読みかえると違った生き方をしている異なったもの同士の共生のあり方が見えてくる。白々の生活のなかで、違いに目を向け争うよりも同じ生きものとして共に生きて友情をはぐくむことの大切さが子どもたちの心に浮かび上がってきてほしい。お互いを認め合うこと、ときには勇気も必要じゃないか。そんなことを思っ創化しました。

三樹健 (脚本)